

2018年度

「管理・監督者」養成講座

メンテナンス・フォアマン

(係長・工長・組長・職長クラス) コース

組織をまとめ改善を推進する保全リーダーを養成する総合プログラムです。
プログラムを修了した方には修了証を授与します。

6日コースです。

2019年 1月16日(水)▶1月18日(金)、2月6日(水)▶2月8日(金)

時間 9:30～17:00

会場 名古屋大同生命ビル2階・会議室
*名古屋駅より徒歩10分



実務力



改善力



人材育成力

管理力

対象

加工組立産業における工務・保全・設備部門の管理・監督者（係長・工長・組長・職長クラス）およびその候補者

ねらい

管理・監督者として必要なスキルを総合的に学び、メンバーとともに現場改善を積極的に推進できるリーダーを養成します

講座の
特徴

1. 第一線のベテラン実務者による企業事例を紹介しながら講義します
2. 保全・設備部門の監督者が実際にかかえる問題を中心に、「管理能力」「実務能力」「改善能力」「人材育成能力」をバランスよく学べるプログラム構成です
3. 参加者同士の交流を重視。グループ討議を通じて現場での問題や現状を情報交換するなど、実践につなげます
4. 参加者同士の交流をとおして、人脈形成をはかります

参加料

日本プラントメンテナンス協会(JIPM) 会員(正会員、事業所会員) 日本能率協会(JMA) 法人会員	129,600円 (税込) / 1名 (本体価格120,000円 消費税9,600円)
一 般	216,000円 (税込) / 1名 (本体価格200,000円 消費税16,000円)

※上記参加料にはテキスト代・昼食代が含まれています

●会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。

<http://www.jipm.or.jp/memberlist/>

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会HP

https://www3.jma.or.jp/jma-member/list_new/n_member_list.php

一般社団法人 日本能率協会HP

会員以外の方は、この機会にぜひ当会へのご入会をご検討ください

参加申込み方法・参加料お支払い方法

- ・下記申込み書に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリにてご送付ください。電話のみでのお申込みは受付いたしません。
- ・開催の約3週間前より、参加派遣窓口で担当者様あてに受付票と会場案内と請求書・事前アンケートを送付いたします。
- ・1ヶ月以内に、小会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。
- ・事前アンケートは、7日前までにご提出ください。

お申込み先

●申込みの確認は、TEL 048-470-3710までお願いいたします

株式会社アイ・イーシー 通信教育・セミナー受付センター

FAX:048-470-2702

※当会ではセミナー・イベントの申込手続きに関する業務を株式会社アイ・イーシーへ委託しております

お問い合わせ先

●内容についてのお問い合わせは、中部事務所までお願いいたします

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 中部事務所

TEL:052-561-5634

Mail : jipmchuubu@jipm.or.jp

キャンセル規定

- ・参加予定の方が当日参加できない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けます(キャンセルはファクシミリでのみ申し受けます)
 - ・開催当日および前日の参加取消し・・・参加料全額(参加料入金済の場合、返金いたしません)
 - ・開催の2日前～7日前の参加取消し・・・参加料の30%(参加料入金済の場合、70%を返金いたします)
- *いずれも土日曜・祝祭日を含みません

ご注意・お願い

- ・天変地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により、研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- ・録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします

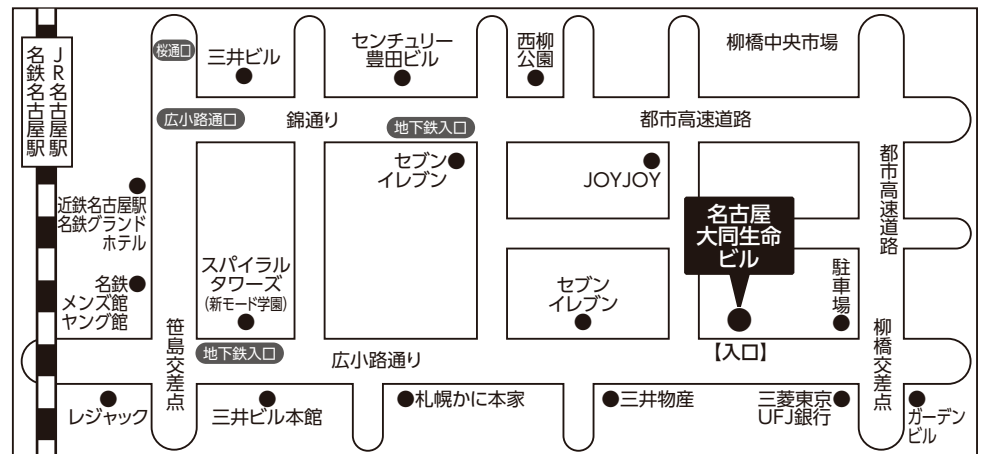
■個人情報に関する取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、当会保有データとして管理させていただきます。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。

当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ (<http://www.jipm.or.jp/>) をご覧ください。

会場案内

名古屋大同生命ビル2階・会議室 (名古屋市中村区名駅4-23-13)



名古屋駅からの
アクセス

- ・JR名古屋駅改札桜通口から徒歩約10分
- ・名鉄名古屋駅改札口から徒歩約7分
- ・地下鉄サンロード5番出口から徒歩約6分
- ・ミヤコ地下街4番出口から徒歩約4分

参加申込み書

LC1031 中部		メンテナンス・フォアマンコース		(公社)日本プラントメンテナンス協会への連絡・要望事項等				
ふりがな		ふりがな						
会社名		事業所名						
所在地	〒							
	TEL.() -	FAX.() -						
ふりがな 派遣窓口 ご担当者		所属役職						
E-mail:								
参加者	ふりがな		所属役職					
	氏名							
	ふりがな		所属役職					
参加者	氏名							
	ふりがな		所属役職					
参加料	合計	JIPM会員価格 (正会員・事業所会員)	129,600円(税込) ×	名	受付	参加登録	請求登録	発送
	円(税込)	一般価格	216,000円(税込) ×	名				

(注)太線の枠内をご記入ください

受講生の声（セミナー終了の際ご回答いただいた「受講者アンケート」結果より抜粋）

- ・他社の現状や苦労している点を聞き、意見交換でき大変有意義だった
- ・講義の中で紹介される事例や実例が、実践的で職場で抱えている課題と似ているため、すぐに役立てられると思った
- ・講師自身の意見が大変わかりやすく、心に残る講義だった。自社でも同じ活動ができればと思う
- ・教え方が堅苦しくなく、重要ポイントに絞って講義されるため、よく理解できた
- ・今まで自分が仕事を通じて学んできたことの振り返りと再整理ができ、新たな改善の方向を見出す良いきっかけとなった



日程	時間	プログラム（予定）	講師（敬称略）
19年2月6日（水）	9:30	第4章 工事管理 1. 工事管理とは 2. 計画の重要性・必要性 3. 役割分担の明確化 4. 日程計画と余力管理 5. 計画保全の推進 6. 設備保全基準 7. 進捗管理 8. 計画保全システムの維持・管理 9. 資材計画 10. 日常保全の実施	株式会社 豊田自動織機  生技・生産本部 生産管理部 生産管理室 主査 浅井哲夫 氏
	17:00		
2月7日（木）	9:30	第5章 設備故障低減と保全予算管理 5-1 故障低減 1. 故障ゼロへのアプローチ 2. 問題解決への取り組み方 3. 故障を早く復旧する改善 4. 故障を再発させない改善活動 5. 安く実施する改善活動 5-2 保全予算管理 6. 保全予算の策定 7. 保全費管理	中部ティーイーケイ株式会社 （東レ株式会社）  保全事業本部 岡崎保全事業部 部長 常川和孝 氏
	17:00		
2月8日（金）	9:30	第6章 予備品管理 1. 予備品管理の基本的考え方 2. 予備品 管理方法の設定 3. 発注方式の決定 4. 予備品管理システム・フロー 5. 予備品の保管 6. 棚卸	トヨタ自動車 株式会社 生産管理部 生産性・競争力強化推進室 資材管理グループ グループ長 鈴木義和 氏
	17:00	【まとめ】 ロードマップ作成 フォアマンのみなさんに期待すること 【修了証 授与式】	

<当コースで習得を旨とする能力>

管理能力

- ・設備保全のPDCAのサイクルを回し、着実に成果を上げる
- ・常に改善を心がけ、仕事の効率アップを図る
- ・PQDSMEの目標を達成しつつ、保全コスト管理、部門原価管理を適切に行う

実務能力

- ・設備保全システムを理解し、計画保全活動の指導を行う
- ・計画保全の仕組みの構築を計画的に行い、設備効率の向上・生産性の維持向上を適切にリードする
- ・設備・製品の異常を早期に発見し、処理するだけでなく、再発予防の仕組み構築を図る

改善能力

- ・設備ならびに生産システムの信頼性・安全性向上を目指して改良保全を促進する
- ・現場でのトラブル(異常)に対して、現象・現実・現場を正確に捉え、技術的な解析・分析などから、設計上の改良点を見出し、設計・生産技術などの上流部門に改善提案を積極的に行う

人材育成能力

- ・部下各人の技能や能力評価を的確に行うとともに、その結果に基づいて技能向上・伝承を図る
- ・小集団活動に適切な指針・指導・支援を行って、適切な動機づけにより、総合力の発揮を図る
- ・運転部門の自主保全活動や、個別改善活動に関して、専門技術面や活動促進の指導・支援を適切に行う

日程	時間	プログラム(予定)	講師(敬称略)
19年1月16日(水)	9:30 17:00	【オリエンテーション】 第1章 TPM総論 1-1 モノづくりとTPM概要 1. 日本のモノづくりを支える生産管理 2. 日本のモノづくり 3. 設備管理の意義と目的 4. TPMの普及状況と効果ならびに必要性について 5. TPMとはなにか 1-2 設備保全 6. 生産効率の極限追求 7. 生産活動における生産阻害とは 8. 設備保全方法について 9. 保全の役割 10. 専門保全部門の体質づくり	株式会社 デンソー  生産革新センター 工機部 TPM推進室 担当課長 藤原 聖氏
1月17日(木)	9:30 17:00	第2章 フォアマンの役割と安全衛生管理 2-1 保全職制(リーダー・第一線監督者)としての管理 1. 保全職制としての管理 2. 管理指標の運用 3. 主な指標 4. 今リーダーに期待されている事は何か? 5. リーダーとしての自己啓発 6. 人的魅力のあるリーダー 2-2 人材育成 7. メンバーの成長を促す育成の進め方 8. メンバーの育成 9. 人材育成とスキルの伝承 2-3 自主保全活動の展開 10. 自主保全活動 2-4 安全・衛生と環境管理体制づくり 11. 環境管理体制づくりの重要性 12. 安全の基本方針	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社  製造本部 第2工場 工場管理部 部長 木村昭彦氏
1月18日(金)	9:30 17:00	第3章 設備管理における設備づくりと導入 1. MP活動とは 2. 設備管理におけるMP活動の位置付け 3. MP活動の重点と活動範囲 4. 設備が具備すべき基本的な機能要素の設計段階からの確保 5. 設備・製品初期管理における製造の役割と活動 6. 設備の初期流動管理段階の各ステップにおけるデバッグの実際 7. MP情報の収集と活用 8. MP設計事例 9. 新設備導入業務への参画	アイシン高丘株式会社  鑄造生技部 生技管理 T TL 松本哲之氏